

私たちの地域を守る消防団



平成27年に行われた佐賀県総合訓練（月の輪正法）の様子

消防団の概要

■ 団員数

995人（4月1日現在）

■ 分団数

1本部 11分団

■ 主な活動

火災の鎮圧、風水害の軽減
警戒警備、行方不明者捜索

■ その他の活動

夏季訓練・夏季点検（8月）、
広報活動、家庭の火の元点検、
年末警戒、消防出初式、春・
秋の火災予防運動、火災防衛
訓練など



今回の特集では、地域の安全を守るため、日ごろのよ
うな活動や訓練を行っているのかを紹介するとともに、団
員の思いなどを通じて、消防団の活動や必要性について考
えます。

消防団は、火災だけでなく、台風や集中豪雨といった自
然災害のときにも出動するなど、地域の安全・安心なまち
づくりに貢献しています。この地域防災の一翼を担う消防
団の役割はますます重要視され、地域の期待が高まってい
ます。

皆さんは、消防団のことをどれくらい知っていますか。
消防団は、消防署の職員とは違い、会社勤めや自営業な
ど本業を持ちながら、『自分たちの地域は自分たちで守る』
という精神に基づき、地域の安全を守るために活動してい
る人たちの集まりです。

● 問合先 消防調整課消防団係（☎23116）

消防団はどんな活動や訓練をしているのでしょうか

消防団は、日ごろから地域の安全を守るため、年間を通じてさまざまな活動や訓練をしています。ここでは、その主なものを紹介します。



【写真①】 1月 消防団消防出初式

1年の始まりは、年明け早々に行われる「消防出初式」(写真①)。消防団員が一堂に会して、市民の皆さんに防火・防災意識の啓発を行います。



【写真②】 8月 夏季点検

5月、新消防団員の入団式が厳かに行われ、市民の安全・安心のために尽力することを誓います。
8月、夏季点検が行われ、日ごろの訓練の成果を披露します(写真②)。
12月、火を使う機会が増える年末には、安心して年を越せるよう、夜間の警戒活動を行います(写真③)。



新生ラッパ隊の活躍と今後の目標

平成27年4月、市消防団から、佐賀県で初めてラッパ隊に女性が入隊しました。

今までは、ラッパのみで吹奏をしていましたが、これを機に新しい試みとして太鼓やシンバルなどの打楽器を導入しました。式典では、ラッパのみでの吹奏に比べ、華やかさとリズム感が出ました。夏季点検や消防出初式での分列行進では、市消防団の一糸乱れぬ行進を披露し、皆さんに拍手喝さいを受けました。

今後は、市消防団ラッパ隊をより多くの皆さんに知ってもらうため、消防団行事だけでなく、市内の催しに参加し、吹奏します。さらなる活躍をご期待ください。



【写真③】 12月 年末警戒



【写真④】 通年 可搬ポンプ取扱訓練

このほか、消防ポンプを正しく素早く取り扱うことができるよう可搬ポンプ取扱訓練(写真④)を行います。また、団員の経験年数にあわせた訓練のほか、危険予知訓練、各種合同訓練、佐賀県消防学校(佐賀市)に入校しての訓練などを行っています。
訓練を通じて、規律正しい行動を身につけ、消防団としてのチームワークの大切さをしっかりと刻み込みます。

伊万里市消防団 各分団の

ホープを紹介します

市消防団は、大切な人や大好きなまちを火災などの災害から守るため日夜頑張っています。現在市内には11の分団があり、995人の団員が災害現場に出動したり、災害の警戒に当たったりして地域の安全・安心のために活躍しています。ここでは、その団員の中から、各分団のホープを紹介します。



↑新入団員を代表して中島涼輔さん（大川分団）が、「誠実、公正に職務を遂行します」と宣誓（平成27年度市消防団入団式）



伊万里分団



第2部（団員）
池田 宏司
（木須西）

消防団に入り、訓練や点検などふだんの生活では体験できないことに多く参加しています。また、行事に真剣に取り組む先輩方の姿を見て『ふだんの自分』、『父親としての自分』に良い刺激となっています。これからも頑張っていきたいと思います。

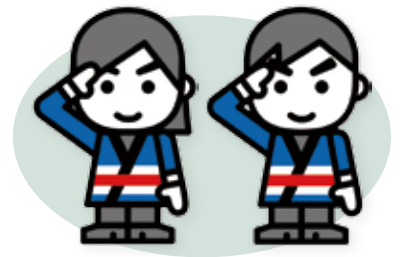


団本部



女性部（団員）
梅崎 亜矢子
（駒鳴）

入団してすぐに応急手当指導員として応急救護の大切さを学びました。昨年は全国女性消防団員活性化大会に参加し、全国の女性消防団員との交流などさまざまな経験を積みました。これからもこの経験を生かし、地域貢献ができればと思います。



黒川分団



第3部（団員）
坂口 潤
（大黒川）

入団する前は災害に対する不安がありました。『一人ではできないことも団体で行えばできることもある』という先輩の言葉に感銘を受け入団を決意しました。『われらの町は、われらで守る』というボランティア精神を持ち消防団活動を行っていきます。



大川内分団



第3部（団員）
畑石 修嗣
（福野）

先輩方に誘われ少しでも地域のためになるならと昨年入団しました。入団したてで分からないことばかりですが、諸先輩方に学び防災に一生懸命努めていきますのでどうぞよろしくお願致します。



大坪分団



第1部（団員）
中島 悠貴
（上古賀）

入団して4年になりました。これまでポンプ操作や小隊訓練に参加して、チームワークの大切さを学ぶとともに、日々の消防活動の重要性を実感しました。今後も地域の先輩方と協力し、地域に貢献できるよう頑張りたいと思います。



大川分団

第1部 (団員)
松尾 智明
(川西)



昨年末、伊万里市に帰ってきて、部長を務めていた同級生に勧誘され入団しました。30代での入団ですが地元のホープ(希望)と思われるように、明るく・楽しくまじめに活動し、地域に貢献したいと思っています。



南波多分団

第3部 (団員)
瀬戸 雄貴
(府招上)



入団当初は活動の幅広さに戸惑いがありましたが、諸先輩方のご指導により、今では地域に貢献できる消防団員として活動することを誇りに感じています。今後は、諸先輩方が築き上げた伝統と実績に恥じぬよう、自己研鑽に励み頑張っていきます。



波多津分団

第7部 (団員)
松下 真也
(木場)



地元に戻り、昨年4月に入団しました。少しでも地域や消防活動に貢献できるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。



東山代分団

第1部 (団員)
水田 雄治
(里)



以前は、勤務地である唐津市消防団に入団していましたが、地元伊万里市に転勤となり入団しました。先輩からの指導や各種訓練参加により消防団活動について学んでいます。消防団員として長く地域に貢献できればと思います。



二里分団

第3部 (団員)
梶山 諒也
(作井手)



昨年4月に入団し、先輩方の指導のもと日々消防活動に取り組んでいます。ラッパ隊としても出初式など式典での演奏に向け練習に励んでいます。地域の安全・安心を守るために、責任をもって行動していきますのでよろしくお願い致します。



松浦分団

第1部 (団員)
石井 啓介
(下分)



これまで火災や災害というものを身近に感じておらずどこか他人事のように思っていた自分が、入団してそれらのニュースに敏感になるようになりました。今後は生まれ育った町への恩返しのため消防団の活動に従事していきたいと思っています。



山代分団

第3部 (団員)
金子 直すなお
(久原2区)



平成24年4月に入団しました。火災予防広報や各種訓練などの消防団活動を通じて、防災は地域の絆きずなが重要だと感じました。今後も地域の防災の役に立てるよう頑張っていきます。

市消防団では新団員を募集しています

災害時、地域の実情に精通した消防団員が活動することは、安全で安心なまちづくりで欠かすことができません。

まちを愛する一人一人の力を結集すれば、地域の安全・安心はより確かなものになります。

だからこそ、今、消防団にあなたの『力』が必要です。